

トラブルの少ないシステム、SPIインプラントと、 ティッシュ・マネージメントを学ぶコース

東京 11/26(日)

インプラント周囲炎などインプラントにまつわるトラブルがマスコミ等をにぎわしています。われわれ歯科医は一層トラブルをいかに少なくするかを心掛け治療にあたる必要があります。私はSPIインプラント・システムを2004年の日本導入以来使用していますが、このシステムの特徴として、インプラント周囲炎が少なく、またメカニカルなトラブル(インプラントの破折、ゆるみ等)も非常に少ない、信頼のおけるシステムであると感じています。

さて日常臨床でインプラント埋入に際し、様々な決断を迫られます。臼歯部で十分な顎堤を要するケースでしたら問題はありませんが、審美ゾーンや上顎臼歯部ではどのような方針で進むべきか、また様々なティッシュ・マネージメントの方法をどう取り入れるのか悩むことが多いのではと思います。本講演ではティッシュ・マネージメントのディシジョン・ツリーを作成し、それらの中でも日常臨床で応用範囲の広い、リッジ・プリザベーション(抜歯窩保存術)と結合組織移植術をハンスオン・コースにて、SPIインプラントの特徴とともに学んでいきたいと思っています。



二階堂雅彦先生

東京都中央区開業

参加費 (税込)

友の会 本人/SPIユーザー 54,000円

友の会 スタッフ(院長が一般会員)/
院長がSPIユーザー 57,240円

未入会 68,040円